



災害時の安否確認

黄色いハンカチ訓練

中部自治連合会は1月9日、「我が家は大丈夫」を知らせる安心の黄色いハンカチ掲示と、避難場所への移動経路で危険個所を再確認する防災避難訓練を実施した。

【2面に関連記事】

黄色いハンカチは中部地区の81%の480世帯が掲示した。門柱や玄関に結んだり、レターポストに広げて掲げたりして、「生存」を知らせた。

避難訓練には94%に当たる45地区が参加した。地区の代表者たちが避難場所に指定した出部小学校運動場までの経路を確認。ブロック塀や道路などで危険個所を入念にチェックした。

安心の黄色いハンカチは各家庭の安否確認をスムーズに行う道具。出部地区防災会が全戸に配布した。掲示練習は自治連合会・協議会ごとに実施する。

中部自治連合会 8割の世帯が掲示



メニュー

いずえっ子クラブはつらつ	5面
写真で見るつなぐ会の1年	9~11面
出会いの場づくり着々	12面
フォトコンテスト入賞作品	14・15面
茶道教室、初の茶会	19面

出部地区人口	2020年 6月末日現在	7,400(181)人	男3,600(71)人	女3,800(110)人	世帯数3,121(162)戸	
	2020年 2月末日比	8(10)人	-1(9)人	9(1)人	20(5)戸	※カッコ内は外国人

いずえ地区まちおこし協議会のホームページ

<http://www.ibara.ne.jp/~izue-km/machi/>

いずえ地区まちおこし

検索

高い防災意識 避難訓練参加率94%

災害に備え自治会長を対象にした中部自治連合会の避難訓練には、48地区のうち94%に当たる45地区からの参加があった。地域の防災に対する高い関心を示した。
(1面関連)

参加者は各地区から避難場所に指定した出部小学校まで平均11分で移動した。「空き家や老朽化して危ない家」「傾いているブロック塀」「倒れて電線に掛かった松林」など危険個所を指摘。「消火器がない地区もあった」「避難経路の検証が必要」などの声もあった。

安心の黄色いハンカチは8割の世帯が

中
部

経路の検証
必要の声も



掲示し、安否確認の練習ができた。全世帯掲示したのは11地区だった。連合会役員たちは「今回の訓練は参加者が例年より多く、黄色いハンカチ掲示練習が、参加率を高めた」と分析していた。

スポーツ日和 ナイスショット



福老会Gゴルフ大会

連日のコロナ禍で家にこもりがちの中、福老会は11月19日、グラウンド・ゴルフ大会を開催した。幸い絶好のスポーツ日和に恵まれ、明るい表情の21人が七日市公園に集い、スタートした。

役員により草取りや土ならしで整備されたグラウンド。新たに購入した色鮮や

かな旗のもと気分も新たにプレーボール。8ホールのコースで5グループに分かれてスコアを競い合った。

久しぶりのグラウンド・ゴルフ大会に、歓声あり、笑いありの明るい雰囲気。日頃のストレスを解消しお互いのふれあいを深めあえた。

高屋川清掃 80人が汗

西部

10月24日（日）午前8時から、出部西部自治連合協議会と出部地区連合会5団体で一斉に高屋川清掃を行いました。井原市環境企画課の方を含め約80人に参加をいただきました。

ご高齢の方に「草刈り大変ですね。疲れたらお休みされても大丈夫ですよ」と声をかけてみると、「いやいやとんでもない。私みたいな独り身のもんは、こうやって体を動かして、誰かとおしゃべり出来る場があることに、本当に感謝しているんですよ」とお答えいただいた。

高屋川清掃では、草を刈ることそのもの



よりも、地域住民が楽しくコミュニケーションを取れる機会を整えることが、重要だと実感しました。

サロン活動再開



家後屋さくらんぼの会

家後屋さくらんぼの会は紅葉の季節の11月、2年2か月ぶりに活動を再開した。メンバー20人が香川県高松市の栗林公園を訪れた。

松林や吹上などを眺めながら園内を散策。昼食後、82番札所の根香寺に移動し、牛鬼の石像などを見学した。

長引くコロナ禍のためサロン活動が中止になり会う機会がなくなっていた会員たちは、バス旅行で名勝・史跡に触れ、「旧交」を温めた。参加者は「久しぶりに仲間に会えたし一緒に旅行もできた」と楽しそうだった。

サロンでは1月、新年互礼茶話会を家後屋公民館で開き、簡易体操を学んだ。





七日市（1月10日、七日市公園）



疫病退散 とんど高く



出部地区の2カ所で「とんど焼き」があり、願いを込めた炎が高く舞い上がった。

中部自治連合会は1月9日、出部小学校グラウンド、七日市自治連合会は10日、七日市公園でそれぞれ開き、住民らが持ち寄った正月のしめ縄飾りを火にくべ、一年の無病息災を祈った。

中部のやぐらは約2.5m四

方、中央に笹を立てた。七日市は高さ4m。点火すると火は勢いよく燃え上がり、くべられた書き初めやしめ縄の燃えかすが空高く舞った。

竹がはじけて「パーン」と乾いた音が辺りに響くと、火に当たっていた人からは歓声が上がった。

中 部（1月9日、出部小学校）



おめでとう100歳

三宅 ヒサヨさん



1922年1月22日生

＝七日市町

放課後児童クラブ紹介①

いずえっ子クラブ

『学習タイム』



『工作コーナー』
「今日は何作ろうかな？」
思い思いの作品を作っています。



『子ども会議』 クラブでの生活がよりよくなるように、みんなて話し合っています。



『手作り夏祭り』 大盛況!!



『初詣』 下出部八幡宮



『かるた・トランプ大会』
冬休み、みんなでお正月遊びを楽しみました。



「いずえっ子クラブ」は、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的としています。現在、1年生から5年生までの45名が在籍し、小学校の授業終了後と、夏休みや冬休み等の長期休業中に利用しています。年間を通して、児童の主体性や地域とのかかわりを大切に活動や行事を計画し、子どもたちの楽しい居場所づくりに努めています。

親も子も、ふれあい交流

こいの川学級

世界にひとつ ハーバリウムボールペン製作

こいの川学級では親同士の交流の場として年4回ほど親子で楽しめる行事を行っています。

昨年から本年度にかけては新型コロナウイルスの影響で思うように活動できませんでしたが、主に日曜日を中心に親子で活動しています。通常であれば年に1回バス旅行をしたり、イチゴ狩りや、公民館を借りての物作りであったり、親子で身体を動かす親子ヨガなど色々楽しめる行事を行っています。

行事への参加は都合の良いときだけで大丈夫ですので親子のふれあいの場としてお気軽に参加していただけます。

本年度は11月14日、開講しました。出会いとふれあいの場に出部小学校児童と保護者が集い、開講式の後、世界に1本だけのハーバリウムボールペン作りに取り組みました。

参加者は思い思いの花を選び、必要な部分だけを切り分け。ペンに入るかどうか確認しながら配置してオイルを注ぐ。講師の指導を受け、細かい作業を繰り返し、手元でカラフルな花が揺れる癒しのペンを仕上げました。



こいの川学級

2021年度の活動

- ◆開講式
- ◆親子で段ボールギター作り



- ◆親子リトミック (コロナで中止)
- ◆親子で木製トイカメラ作り



- ◆クリスマスフラワーアレンジ

- ◆しめ縄作り



- ◆アクセサリ作り (コロナで中止)
- ◆閉講式

出部地区では公民館活動の一環として、出部幼稚園保護者と園児を対象とした幼児教育学級「おひさまクラブ」という活動をしています。

他愛もない世間話から、幼稚園のことや育児のことなど、おひさまクラブでの活動を通じて皆さんと学年の枠を超えて楽しく交流をし、保護者同士の親睦や、育児の息抜きを主な目標としています。

活動は主に出部公民館を会場として、園児が幼稚園登園している平日の午前中に保護者を対象として講師の先生をお迎えし楽しいワークショップや、夏休みや休日などには親子で一緒にできるイベントなど、年間数回程度企画しています。

本年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、距離を保ちながら会話も控えめになりました。中止になった企画もあり、交流という観点では残念ではありましたが本年度も楽しい時間を過ごせたと思います。

本年度は初めて生涯学習課からの託児ボランティアをお願いして、未就園児を同室内で託児していただくことも試みしました。託児がない場合も、みんなお互い様で見守りながら活動できますので、治さなお子様を連れてのご参加も大歓迎です。

近年参加者が減少傾向にありますが、多くの方に参加していただけたら幸いです。新年度には幼稚園を通して案内を配布しますので、是非ご入会いただき、興味のある活動があればご参加ください。

民生委員の木山敏治さん（下出部町）と増成保枝さん（同町）の2人が、本年度の功労者として表彰されました。

増成保枝さん

民生委員

木山敏治さん

功労者表彰



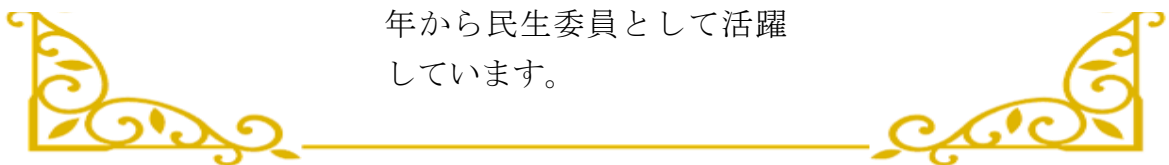
県民児協表彰を受けた
増成さん

11月12日の井原市民生委員・児童委員協議会で、長年にわたり民生委員として地域福祉に貢献したとして木山さんは「岡山県健康福祉功労部長賞」を受賞。平成17年から民生委員を務めています。

増成さんは「岡山県民生委員・児童委員協議会表彰」を受けました。平成22年から民生委員として活躍しています。



県健康福祉功労部長賞を受賞した木山さん



給食サービス 2021年度は2回実施

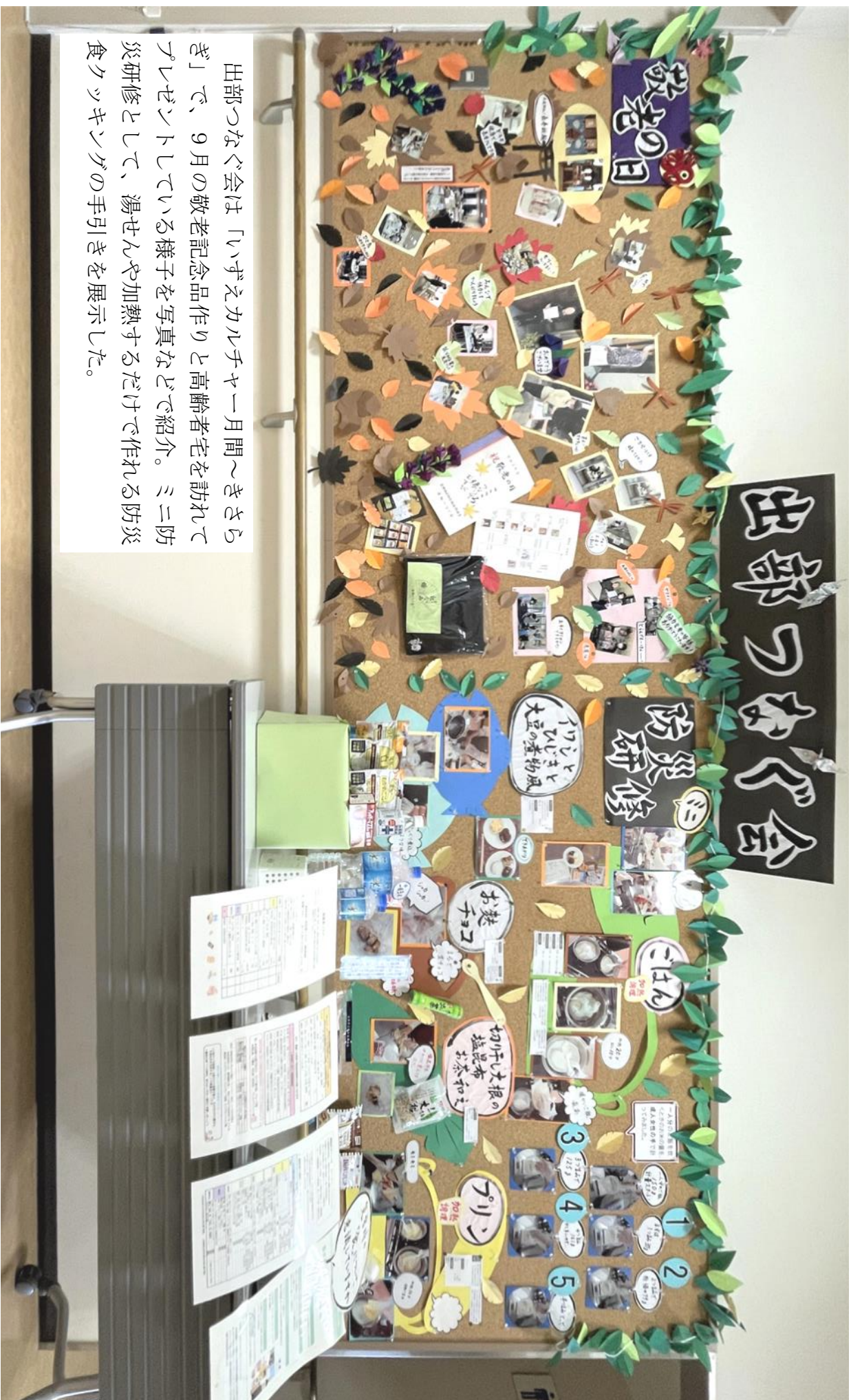


出部地区社会福祉協議会は本年度、77歳以上の一人暮らしや寝たきりの高齢者を対象に2回の給食サービスを実施しました。

1回目の12月12日は、愛育委員がお寿司に、みんなで工夫したクリスマスカードを添えて、142人の高齢者宅を訪問しました。

1月9日の2回目は、民生委員が出部小学校児童の心のこもった手作りカレンダーとお寿司を143人に届けました。





出部つなぐ会は「いずえカルチャー月間〜きさらぎ」で、9月の敬老記念品作りと高齢者宅を訪れてプレゼントしている様子を写真などで紹介。ミニ防災研修として、湯せんや加熱するだけで作れる防災食クッキングの手引きを展示した。



2月

出部地区文化祭
給食サービス
今年度は中止

12月

防災食研修
(9面に活動写真)



給食サービス

今年度はお弁当・クリスマスカードなどを
入れて、配りました。



3月

反省会

4月

つなぐ会総会

交通安全見守り活動

5月

親睦旅行
今年度は中止

ひまわり学級

6月 開講式・コロナ講座



7月 ハワイアンフラ講座



11月 切り絵講座



秋の研修旅行
中止

12月 寄せ植え講座



1月 絵手紙講座



2月 閉講式



出部つなぐ会
絆
2021年度の活動

愛育委員会

赤ちゃん訪問

4カ月検診に来られた赤ちゃんに保健センターで
プレゼントを渡します。



学童・園児支援

出部小学校
児童にアイス
キャンディー
を届けまし
た。



幼稚園にはお菓子をプレゼント。

給食サービス
(クリスマスカード作り)

今年度はお寿司に添えるクリ
スカードを作りました。



体育祭

今年度は中止

10月

赤い羽根共同募金の取りまとめ

日赤の活動を支える大切な
資金となります。災害が多発
する今こそ大切な活動です。

日本赤十字社活動資金募集

8月

9月

交通安全見守り活動



9月

高齢者の皆様、今日
に至るまで地域のため
にご活躍下さり、あり
がとうございました。

敬老会記念品配布
(9面に活動写真)

今年度も敬老会に代えて
お祝いの品を贈らせていた
だきました。



まち協だより

Team♥キューピットは11月27日、独身男女のおしゃれな交流と新しい出会い場として第1回「ワインセミナー」を出部公民館で開きました。

独身男女6人と盛り上げ役の人たち合わせて25人が参加。講師にワインエキスパートの高麗敬弘さん、ジビエ料理担当の小泉登さんをお招きしました。

高麗さんから赤ワインと白ワインの違いや産地から格付けまでのラベルの読み方など学びました。今回はワインをあまり飲まない初心者向けに、飲み方や簡単なマナー等を紹介していただきました。

広がれ出会いの場



第1弾はワインセミナー

大江町で農家民宿を営む小泉さんのジビエ肉と赤ワインのペアリングを存分に楽しみながらの歓談。ゲストの皆さんの顔もほんのりと赤らみ、心も和らぎ、居心地のいい雰囲気の中、閉会となりました。

*次回は4月2日(土)桜の花とBBQを開催する予定です



「出部の史跡」改訂版完成 地域の年表を増補



「ふるさと探訪 出部の史跡」の改訂版ができました。初版は、いづえ地区まちおこし協議会が2018年に発刊し、出部地区全戸に無料配布。以後、新しく転入した人にも無料で配っていました。

3年が経ち在庫がなくなったため増刷しました。改訂版はA4判74頁、1000部印刷。初版を手直しし、新たに出部地区の年表を付け加えました。希望者に1000円で販売しています。問い合わせは出部公民館。

弾むストリングス

いづえ地区まちおこし協議会と出部公民館は11月21日、地元出身のストリングスデュオ「ソレツラ」を招いてアンサンブル広場を出部公民館で開いた。

バイオリン、ビオラ、ピアノ、パーカッションが奏でる調べに、訪れた人たちは酔いしれた。プログラムにはクラシックだけではなくなじみの曲がふんだんに盛り込まれた。恋のフーガや真っ赤な太陽の懐かしの歌を口ずさむ人も。

アンコールの「情熱大陸」では立ち上がって手拍子を打ち続け、大盛り上がりだった。

アンサンブル広場



ハワイアン広場

真冬にトロピカルムード



いづえ地区まちおこし協議会と出部公民館の音楽イベント「ハワイアン広場」が12月10日、出部公民館で開かれた。

公民館サークル「ウクレレ教室」の受講生たちがクリスマスソングを奏で、講師が率いるバンドも加わり、賑やかなクリスマスコンサートになった。ハワイアンフラも彩りを添え、トロピカルムードに包まれた。



ふるさと出部発見フォトコンテスト 秋冬編

優秀賞

みんなでジャンプ (谷中 淳平さん)



クリスマスイルミネーション (今本 治義さん)



一般部門 最優秀賞

とんど焼き あっちっち (落合 信文さん)



雲にのりたい (藤代 治都さん)

審査員特別賞



孫の七五三参り (三宅 敏恵さん)

入 選



水上スキー (渡辺 憲治さん)



初日の出 (佐藤 充さん)



虹をわたって (田邊 拓人さん)



扇の的 (金川 ちよ子さん)



戸木荒神式年祭
当番舞 (山足 朱実さん)

ふるさと出部発見フォトコンテスト（出部公民館、出部地区社会福祉協議会主催）の秋冬編には、地区内外の33人から61点の応募があった。厳正な審査により、入賞作品が決まった。

撮影前の下調べ大切

中国新聞備後本社編集部長 大野達寛

講評

コロナ禍でも私たちのふるさと出部地区の宝物を再発見してほしい、そんな思いを込めて始まったフォトコンテストが秋冬編を迎えました。今回も多く力作が寄せられ、選ぶのに苦労しました。

一般部門最優秀の「とんど焼きあっちっち」は正月の歳時記を写した作品です。手前に燃えさかる炎、奥にマスクをした人物を据え、とんどの臨場感や熱気が伝わってくるようです。

優秀賞の「みんなでジャンプ」は色づいたイチョウの葉っぱのじゅうたんの上で、女の子が元気に跳びはねる瞬間をキャッチしました。楽しそうな表情が光ります。「クリスマスイルミネーション」は、美しいイルミネーション越しに主役の井原駅を配したセンスが光ります。キッズ部門最優秀に輝いた「妹と姉」も躍動感あふれる構図で、一般部門の上位と比べても、まったく遜色（そんじょく）ないレベルでした。

今回の選考で実感したのが下調べの大切さです。絵になる場所と季節を入念に調べて撮影にのぞむという努力の跡がうかがえた作品が目立ち、審査する立場からは非常にやりがいを感じました。

この秋冬、コロナ禍で祭りやイベントが中止になったり、規模を縮小したりしたことでしょう。一日も早くコロナ禍が収束し、秋祭りや神楽など、この時季ならではの行事が心置きなく撮影できる日を心待ちにしています。またハレの日だけでなく、日常の積み重ねの中にも、すてきな一瞬が隠れています。心の目を研ぎ澄ませて、その一瞬を逃さないようにしてください。

キッズ部門 最優秀賞

妹と姉（八杉 悠人さん）



優秀賞



黄色いつばみ（渡辺 由依さん）



友達（八杉 愛花さん）



ピンクの花
（渡辺 優太さん）

消火器・報知器ご確認を

出部分団長 原田聡

出部地区の皆様、日頃より消防団活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年は井原市全体で24件の火災が発生し、その内出部地区の火災は5件でした。

火災発生時には初期消火が非常に大事になりますので、ご家庭への火災報知機の設置や消火器の常備を今一度「ご確認」「ご確認」いただきまして、万が一火災が発生した際は、落ち着いて119番への通報をお願い致します。

消防団って普段どんなことをしているの？

定期訓練内容



器具箱の点検



消火栓の点検



消防用器具の点検



消防ホースの延長



ポンプの運転



放水訓練

火事があったとき消防団は何をしているの？



119番通報

井原市お知らせメールで団員に火災の発生が通知



各消防機庫に集合



出動準備



水源確保、ポンプ設置



消防用ホース延長



放水作業



消火栓の準備



送水



交通整理、車両誘導



消防団員を募集しております!! 地元を守るために一緒に頑張りましょう!!

運用開始
10周年！

「お知らせくん」の放送は聞こえますか？

8割以上の
世帯が利用！

お知らせくんは災害時の緊急情報や、行政情報、各地区の情報などを音声で発信しています。避難勧告や災害に関する情報も発信していますので是非設置をしてください。

井原市にお住いの世帯に対して井原市役所から1台を無償で貸し出しています。お家がない方、新たに引っ越して来られた方は市役所で申請することでお受取できます。

お知らせくんが故障した場合は市役所が無償で交換します。問い合わせは井原市役所総務課情報化推進係 0866-62-9511



出部防災史跡

七日市の日芳橋の南、出部消防団が出初式で無火災記念放水を行う場所の側に、火御崎神社（ひのみさきじんじゃ）というお社があります。神社の由来は言い伝えによると、天保4（1833）年の旧暦2月13日に七日市全部を焼失するほどの大火災があり、現在神社がある所まで燃えたため、火の神を祀るために建てられたとあります。（伝承集 井原の語り草 p53）

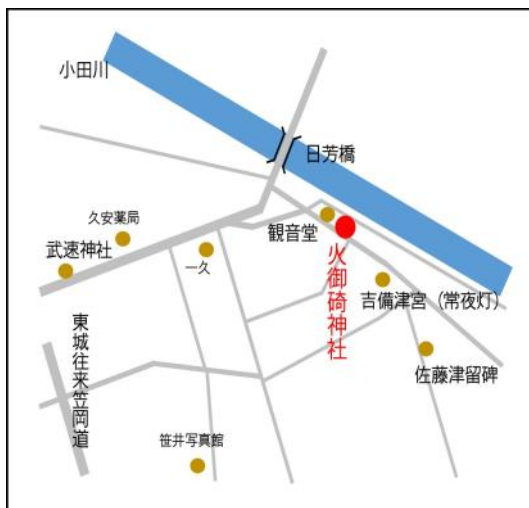
火御崎神社



井原市史 I（p816）によると、同日に七日市の大火の記録があり、焼失した居宅の修理や屋敷替えのために築瀬村の庄屋などから金を借りた記録が残っています。借用理由として、宿場の出入口に家が立て込んでいたため大名らの通行・休泊に差し支えが出ていた。このままでは宿場困窮の原因となるので、裏通りに住居していた者を表通りに屋敷替えをさせ、宿場入り口付近の家が混雑している所は整備して建て、宿場繁栄の基となるようにしたいとあります。

当時は参勤交代もあり、七日市の宿場の仕事のために人がたくさん集まり、家が煩雑に建っていたことが分かります。そんな中の大火でも、今後の繁栄の基になるようにと、当時の人たちがより良い形での復興をしようと計画した様子が読み取れます。

消防団でお配りしている広報紙「火のみやぐら」の令和四年春号では、住宅火災の出火原因や火災予防チェックリストを掲載しております。これらをご利用いただき、皆様も火の元には気を付けて火事を起こさないようにしましょう。



公民館だより



出部公民館サークル「茶道教室」は11月23日の勤労感謝の日、「感謝」というテーマで茶会を出部公民館2階和室で、開催致しました。

感謝を点てる

茶道教室、秋の茶会



三密を避け、一席15人という制限の中、用意していた三席ともほぼ満員という、嬉しい結果でした。日頃支えてくれている家族やお世話になっている友人に感謝、また、お茶会で初めてお会いした皆さんとの出会いにも感謝。何よりコロナ禍でも、この様にお茶会を開催できた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

お越しくくださった方々に、「日常を忘れてとても優雅なひと時を過ごせて良かった」と言われたのがとても嬉しかったです。

次回は5月8日(日)開催予定。少しでも早いコロナ終息を願いつつ、次回も多くの方に来ていただけるよう私達もお稽古を頑張りたいと思います。なお、和室でも椅子席を設けていますので、気軽に一服を楽しんでほしいと思います。ありがとうございました。(妹尾曜子)

出部地区防災会 テントと便器購入

災害時、避難所などに簡易トイレを設置するため出部地区防災会はパーソナルテント、折り畳み式便器などを購入した。

テントと便座を使った簡易トイレは市指定の避難所である出部小学校などで使う。組み立て式テントは広さ4.8平方メートル、高さ2メートル。車椅子でもゆったり利用できる。テントと便器を2器ずつ購入、汚物圧縮保管袋などの消耗品とともに出部公民館に常備した。

避難所の簡易トイレ用



俳句や写真を展示



いづえカルチャー月間



出部地区文化祭に代わる発表の場「いづえカルチャー月間～きさらぎ」の作品展示が2月1日から、出部公民館で開かれました。

公民館サークル「あゆみ句会」の俳句、石丸健治さんの写真、出部つなぐ会の防災食クッキングや敬老記念品作りなどの活動

写真を展示。ふるさと出部発見フォトコンテスト春夏編、秋冬編の入賞写真をはじめ応募全作品を並べました。

カルチャー月間ではダンスや歌など9団体・個人の芸能発表も予定していましたが、コロナの爆発的感染拡大を受けて延期しました。

ご寄付 ありがとうございます

地域のためにとご寄付をいただきました。謹んでお礼申し上げます。

(敬称略)

◎満中陰志

- 《中部自治連合会》
安井 一夫 (亡父)
- 《下出部自治連合会》
小田 敦子 (亡夫)
- 《出部地区社協》
安井 一夫 (亡父)
小田 敦子 (亡夫)
出原 稔 (亡母)

◎一般寄付

- 《七日市自治連合会》
三宅 ヒサヨ
- 《出部地区社協》
三宅 ヒサヨ

第65回出部公民館囲碁大会

22人 真冬の熱闘譜

出部公民館主催の第65回囲碁大会（山陽新聞社後援）は2月6日、出部公民館で開かれた。

コロナ感染拡大のため、昨年と同じく参加者を市内在住者に限定。22人の愛好者が盤上で熱戦を繰り広げた。

囲碁大会の成績(敬称略)

【A級】	①安部 弘和	【B級】	①木山 直明
	②神保 圭之		②前原 裕文
	③金尾 澄子		③吉澤 泰夫



飛び出せ いずえっ子



井上 智陽ちゃん
いのうえ ちはる

女の子 (2021年5月8日)
= 上出部町



佐藤 秀人ちゃん
さとう しゅうと

佐藤 蒼真ちゃん
さとう そうま

男の子 (2015年10月24日) 男の子 (2018年6月7日)
= 笹賀町



久安 晶大ちゃん
ひさやす あきひろ

男の子 (2021年2月7日)
= 下出部町



難波 龍之介ちゃん
なんば りゅうのすけ



難波 幸ノ心ちゃん
なんば こうのしん

男の子 (2017年3月24日) 男の子 (2019年12月24日)
= 上出部町



塩出 清人ちゃん
しおで きよと

女の子 (2020年9月8日)
= 下出部町

「ふるさと出部」では元気なお子さんを紹介し
ます。掲載するのは①名前 (ふりがな付き) ②生年月
日③性別④町名⑤顔写真。保護者の連絡先を添えて
出部公民館 (〒715-0021、井原市上出部町1219-
2) まで郵送するか持参してください。

メール (izue-km@ibara.ne.jp) でも受け付けま
す。

編集後記

オリンピックは金儲けのための祭典ではないし、権力者が歴史に名声を刻むためのものでもない。パンデミックと戦争の危機をはらんだ国際情勢下、昨夏そして今冬、スポーツの祭典がゆがんで見えて仕方なかった。東京・北京開催に疑問符を投げかけていたメディアは開幕と同時に、手のひら返しの翼賛報道。お祭り騒ぎ後も感染は続き、戦端までもが開かれてしまった。「スポーツを通じて国際平和を築き上げる」。オリンピズムの根本原則はどこにいったのだろうか。